

## 次号予告

### 特集 データ解析コンペティション—金融マーケティング(2)—

リテールバンキングによる顧客活性化 ……荒木長照, 石垣智徳, 森田裕之 (大阪府立大学)

金融機関における顧客理解のための分割事例: 金融行動と金融意識との関連性の把握

……………長田伸一 (サイバーエージェント), 長田紘明 (日本総合研究所), 本橋永至, 守口 剛 (立教大学)

金融チャネル利用実態からの顧客セグメンテーション

……………里村卓也 (大阪大学), 江原 淳 (専修大学)

佐藤栄作, 佐藤忠彦, 寺田英治 (流通経済研究所)

データマイニングによる金融データ解析 ……平山克己 (北九州市立大学), 田村亮二 (岐銀システムソリューションズ)

講評 平成12年度データ解析コンペティションを終えて……………石井 進 (あさひ銀行)

### 編集後記

●初めて編集後記なるものを書きます。ということで、他の方の書いたものを参考にしようと見てみると、時候のあいさつから始める方が多いようです。でも、この号が皆様のお手元に届く頃は既に年も明けていますが、今は晩秋。昔、船便でヨーロッパに送る手紙を書いた人も同じことを感じたのでしょうか。

●でもそんなことは気にせずに進めます。連日のTV・新聞の記事は、同時多発テロとアフガン空爆、小泉内閣と構造改革がトップを占めています。この年は世界と日本の歴史にとって特別な年になるのかも知れません。平和のためのプロセスや難民援助、特種法人改革なども含め、そのような問題とORとの係わりはどうなっているのでしょうか。

●今月はスケジューリングについての企業事例特集です。著者の方々には、昨年春の企業事例交流会(春季研究発表会時に開催)でのご発表をあらためて原稿にして頂きました。編集にあたっては、法政大学の西岡

先生と研究普及委員会の皆様方(NTT-ATの川島様、鉄道総研の平井様、日本IBM東京基礎研究所の岡野様)に全面的なご協力を頂きました。どうもありがとうございました。

●どの論文の内容も実践に裏打ちされたものであり、その文章からは自信のようなものが感じられます。企業活動における資源と情報の空間的・時間的な動き方を決めていくという意味で、スケジューリングがいかに重要かを再認識した気がします。そういえば先日見たTV番組で、人が人であるゆえんのひとつとして、人の脳には他者のことを自分自身のこととして感じる共感という能力がある点をあげていました。他人の書いた文章を読んで、そこから自分の抱えている問題への解決法や新たな研究テーマを感じる(見出す)のとの関係があるのでしょうか。

●この特集が皆様の共感を得ることを期待しております。(小沢利久)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 上田 徹(成蹊大学) 副委員長 高橋敬隆(早稲田大学)

委員 大澤義明(筑波大学), 大屋隆生(財電力中央研究所), 小沢利久(駒澤大学), 北澤英理子(東京ガス株), 中川慶一郎(株NTTデータ), 中川義之(株住友金属システムソリューションズ), 生田目崇(東京理科大学), 並木 誠(東邦大学), 難波和明(東京理科大学), 原 裕淳(株東芝), 平山克己(北九州市立大学), 松村良平(東京工業大学), 三浦英俊(明海大学), 吉野秀明(日本電信電話株)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成14年1月号 第47巻 第1号 通巻493号

代表者 長谷川利治

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-00  
<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 上田 徹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税含)

### ●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337), 日経弘報社(3563-2241)へ